



ADOPT



ADOPT



ADOPT



ADOPT



第14号

“みんなで育てる みんなのまち”

アダプトだより

(平成29年 5月 1日号)

・ INFORMATION

- 特集1 市民活動交流センター
- 特集2 “ぎふまち育て隊”の歴史
- 特集3 助成制度

- ・ 参加特典
- ・ 参加団体情報





市民活動交流センター



平成27年7月18日に開館した「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、皆さんの多数のご来場をいただき、平成29年2月26日には来場者累計200万人を超えました。

“絆の拠点”として設置された市民活動交流センターでは、NPOなどの目的型コミュニティや自治会連合会やまちづくり協議会などの地域型コミュニティの活動を様々な面で応援しています。

まちづくり協議会 活動パネル展 ～今、そしてこれから～

「まちづくり協議会」は地域が主体的にまちづくりを進め都市内分権を担うことのできる「自治的地域コミュニティ」の形成に向けた地域の中心的功能です。

平成29年3月1日～9日に、第2回となる活動パネル展を開催し、21地域にパネルを出展していただき、盛況を収めました。来場した市民の方々にも、まちづくりについて理解を深めてもらえたのではないかと思います。



平成28年度パネル展の様子

岐阜市市民活動支援事業 公開企画コンペ

「市民活動支援事業」は、地域社会の課題解決を目的として、市民の皆さん自らが企画・実施する事業を応援する助成制度です。平成28年度は過去最高の38事業の応募がありました。市民の皆さんにより一層知っていただくために、公開でコンペを開催しています。

平成29年度は5月27日（土）・28日（日）にぎふメディアコスモスのドキドキテラスで行います。ご興味のある方は、是非お立ち寄りください。



平成28年度公開企画コンペの様子



特集2

岐阜版アダプト・プログラム

“ぎふまち育て隊”の歴史

アダプト・プログラムは1985年にアメリカのテキサス州で始まりました。“アダプト”という言葉には、「養子縁組をする」という意味があり、市民の皆さんが、道路・河川・公園などの公共の場所を、わが子のように愛情をもって面倒をみる、ということからきています。

日本では1998年に四国で始まり、岐阜市では平成15年度にモデル事業として、翌平成16年度より本格的に開始しました。

■平成15年度 モデル事業開始

市民協働推進課（現：市民活動交流センター）を主管課としてモデル事業が始まり、16団体が活動に名乗りをあげていただきました。

■平成16年度 本格的に事業開始

先行の16団体にさらに3団体が加わり、19団体が活動を本格的に開始しました。本誌「アダプトだより」も同年7月に創刊号を発行し、以来、情報提供に努めてきました。当初から全国にも珍しい「一般型」「文化財型」「創造型」の3パターンで展開し、公共空間すべてを対象として取り組んできました。

■平成17年度 NHKに出演

12月放送のNHK「難問解決！ご近所の底力」に出演。落葉の清掃問題の解決策として、長野県上田市、大分県杵築市とともに「きょうまちポイステZEROの会」が取り上げられました。メンバー4人がスタジオに登場。市内外からの関心を集めました。

■平成21年度 「環境保全型」創設

地球温暖化など環境問題が注目され、解決に向けてさまざまな取り組みが行われるようになりました。岐阜市では新たに「環境保全型」を創設。既存の活動でも環境保全の側面を持つものもありましたが、本タイプの創設によりさらに間口を広げ、活動の促進を図りました。

■平成27年度 利用できる保険内容の拡大

これまでの「傷害保険」に加えて、「賠償責任保険」にも対応しました。参加者自身の怪我だけでなく、活動により他人の身体や持ち物を傷つけてしまった場合も、保険の適用対象となります。これまで以上に安心して活動に取り組んでいただけるようになりました。

事業開始から10年以上、みなさんの力でアダプト・プログラムは支えられています。



モデル事業時から継続して
活動いただいている
16団体のうち7団体を紹介します！
いつもありがとうございます！



金華山を美しくする会



金華山ドライブウエーの崖下にゴミなどが散乱しているのに気づき、平成4年ごろから活動を開始しました。以前は崖下など急斜面等での作業もありましたが、この清掃活動や行政による夜間の車両進入禁止措置などにより、驚くほどゴミが少なくなったと感じています。現在は2団体でこの会を構成し、春と秋の年2回で活動しています。

今後も継続していきたいと思っています。

華陽小学校PTA

環境美化活動を通して華陽地域へ貢献したいと思い、活動をはじめました。少しずつではありますが、地域や人とのつながりが広がっていくのを感じています。学校内の池など、普段なかなか手が届かないところなどをキレイにしていけたらと思っています。

みんなで活動を継続しさらに貢献していきたいです。



【 活動団体の参加形態（複数該当あり） 】

平成28年3月末時点

一般型 (清掃活動など)	創造型 (花壇の整備など)	文化財型 (文化財の整備など)	環境保全型 (山林の保全など)
138団体	22団体	1団体	8団体

新荒田川を美しくする会



川の中にたくさんの粗大ゴミがあったので、地域のみんなで活動をはじめました。今でもゴミを捨てる人はいて問題はなくなりませんが、当初始めたときよりきれいになり、魚も増えたことはとてもうれしく感じています。小学生をはじめ毎回100人以上の参加があります。

地域のつながりで始めたこの活動が、さらに地域の絆を強めていると感じます。今後もけがのないように、がんばりすぎず取り組んでいきたいと思います。

梅林公園を守る会

梅林公園は地域の自慢であり、いつまでも愛される美しい公園として守っていききたいという思いから活動を始めました。訪れた人から「きれいになった」と声をかけられることは喜びですし、活動後の反省会で会員の親睦も高まり、元気の素になっています。これからも公園を守り地域に貢献したいと思います。会員は高齢者が多いので、若者にもぜひ参加してもらいたいです。



東邦ガス株式会社



地域のために貢献したいという社員の発案で事務所周辺の清掃を行っていました。その後、アダプト事業が始まるとのことで参加しました。始めた当時と比べて市民の方の意識も高くなり、ゴミの量は減ったように感じます。

これからも清掃を継続し、地域をきれいに保っていきたいと思います。

きょうまちポイステ ZERO の会

地域住民の協力体制の確立と、まちの美化運動推進を図るため“ぎふまち育て隊”に参加しました。地域内の公共空間（道路・公園等）5か所において毎月第2土曜日を活動日としており、自主的に多くの方が参加しています。落ち葉や犬のフンなどが多く、清掃に苦慮することもあります。地域美化のためにがんばっています。

地域の高齢化による参加人数の減少や参加者の高齢化が心配されており、今後の継続のためにも若い方や小中学生も参加しやすい環境・仕組みを作っていくことが課題です。



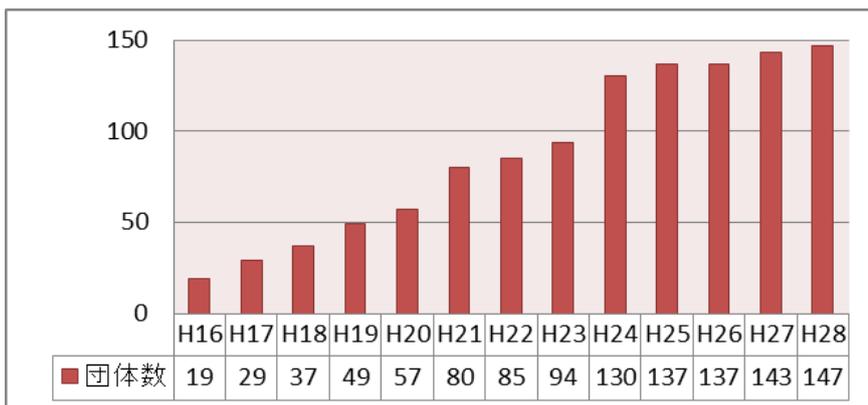
上城田寺古墳保存会



昭和58年、林道を作る際に古墳を発見し、岐阜市市跡に認定されました。古墳を守っていくため保存会を作り、年2回の古墳清掃と、日々草刈りなどの維持管理を行っています。

他地域からもぜひ参加してもらいたいと思っています。

【 各年度末参加団体数の推移 】



当初の7倍以上に
増えました！



特集3

公益社団法人 食品容器環境美化協会

(公社)食品容器環境美化協会では、アダプト・プログラムに**新たに参加しようとする団体**、アダプト活動をさらに充実、拡大させようとする**団体**に助成を行い、アダプト活動の輪がさらに広がり、**地域の美化、環境美化につながるよう**応援しています。

統一美化マーク

※平成29年度の最新情報がわかり次第、案内いたします！

平成28年度の場合(参考)

■助成対象団体

- 次のいずれかの団体であること
 - ①新たに地域のアダプト・プログラムに参加しようとする団体
 - ②アダプト活動をさらに充実、ステップアップしようとするアダプト・プログラム活動団体
- 過去2年間食品容器環境美化協会の助成を受けていないこと



飲料容器の散乱防止、リサイクルの促進を目的に食環協が制定したマーク。

■助成内容

助成総額 約478万円

10万円助成コース 29団体 (応募109団体)

5万円助成コース 40団体 (応募144団体)

■助成申請の対象となる費用

- ・アダプト・プログラム活動のうち主として清掃活動に必要な諸費用
 - 例 清掃用具(ほうき、ゴミ袋、軍手等)、ユニフォーム、腕章、交流会等の会場費、講師料等
- ・平成28年4月～平成29年3月までに支出される経費

■助成決定までの流れ

応募締切 平成28年6月26日 → 決定通知 平成28年9月1日

岐阜市 平成28年度助成対象団体(申請6団体中)

5万円コース	上春近地区自治会
	木之本長寿会
	ボランティア風と土の会

<問い合わせ先>

公益社団法人食品容器環境美化協会(食環協)

ホームページ: <http://www.kankyobika.or.jp/>

アダプト・プログラム助成制度担当

電話番号: 03-5439-5121

FAX番号: 03-5476-2883

(平日10時～17時)

アダプト・プログラムと普通の活動では何が違うの？



市が加入する2種類の保険が適用されます。

自主的に活動している場合、万が一自分や他人に怪我があったときの負担は全て活動している本人です。せっかく地域のためにがんばっているのに、なんとなく不安があるかも・・・

岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”に参加されている活動団体には、岐阜市が加入する保険（「傷害保険」「賠償責任保険」）が適用されます。なお、アダプト・プログラム登録団体に本保険の保険料負担はありません。

※ただし、保険を適用するためには、活動時の参加者を名簿で管理する必要があります。全ての事案に適用されるわけではありません。

【傷害保険】



死亡・後遺障害補償保険金			
死亡：500万円・後遺障害：20万円～50万円（傷害の程度により異なります）			
入院補償保険金		通院補償保険金	
入院日数	保険金額	通院日数	保険金額
1日～5日	2万円	6日～15日	2万円
6日～15日	6万円	16日～30日	6万円
16日～30日	12万円	31日～60日	9万円
31日～60日	18万円	61日以上	12万円
61日～90日	24万円	※通院補償は通院6日以上に限ります。	
91日以上	30万円		

◆保険の適用期間は、怪我をされたときから6ヶ月間以内です。

【賠償責任保険】



補償項目		保険金額・支払限度額	
賠償責任 (免責金額なし)	身体財物共通	1事故・保険期間中	2億円
	管理財物	1事故・保険期間中	50万円（現金は10万円）
	人格権侵害	1名（1事故・保険期間中）	50万円（100万円）
事故対応費用		1事故・保険期間中	500万円
見舞費用		死亡	50万円
		後遺障害	2万円～50万円
		入院日数に応じて2～10万円／通院日数に応じて1～5万円	

万が一、活動中に事故が発生した場合は、市民活動交流センター（058-264-0011）まで、ご連絡ください。



参加特典2 【サインボード】

サインボードを設置します。

希望団体には、団体名を記載したサインボードを岐阜市が設置します。団体の活動を広く知らせることができ、その地域のポイ捨ての抑制効果も期待できます。

サインボードは他都市でも多く導入されている支援の一つです。各自治体が工夫を凝らした独自性のあるサインボードを設置しています。近隣市町村でもサインボードは効果的に活用され、参加団体の意欲向上と、市民の美化意識を強めることに役立っています。



◀ 平成28年度設置団体

NTTインフラネット(株)岐阜支店



県内他市もサインボードを設置しています。

▼美濃加茂市クリーンパートナー
“ピカまある隊”



▼関市公共施設アダプトプログラム



～コラム～ 市民参画賞ってなに？

岐阜市では、自発的にまちづくりに取り組む個人・団体の功績をたたえて「市民参画賞」を授与しています。表彰対象の活動を5年以上継続的に行っていることが要件です。「岐阜版アダプト・プログラム」の活動は表彰の対象となっており、例年表彰を行っています。平成28年度は下記の団体が受賞されました。

平成28年度受賞団体（5団体）

- ・又丸自治会
- ・大洞桐ヶ丘市営支部
- ・日野吉工業株式会社
- ・荒田川周辺地域の環境を守る会
- ・合渡まちづくり協議会

平成28年度参加団体

平成28年度に新たに“ぎふまち育て隊”に参加された団体のうち5団体をご紹介します。

三田洞東川西第一自治会

地区内の環境整備を目的として、坂下公園、ポケットパーク、末洞川の草刈り・清掃活動など4回、朝7時から1時間ほど行っています。

夏場の雑草取りは大変でしたが、一部通学路にもなっており、子どもたちが元気で安全に通学できることを願い、皆さん汗いっぱいがんばっています。



藪田西第1第2自治会



毎年10月の第1日曜日に地域の清掃活動として、地域内の排水路周辺の草刈り・清掃および排水路内の汚泥の除去などを行っています。

今後も、地域美化の一助として、自治会員全員で取り組んでいきます。

(株)デリ・ジャパン

昭和町に本部を置き50年を迎え、地元のために何かできないか考えていたところ、“ぎふまち育て隊”のことを知りました。弊社の経営ビジョンや理念と本事業の活動内容が一致しており、ぜひ参加したいと考えた次第です。地域貢献活動を通じて、これからも地域の皆様と共に歩み、素晴らしい岐阜の町を美しく維持するお手伝いできれば幸いです。



岐阜繊維福祉協同組合



当組合は、給食提供を主たる事業とし現在地に工場を移転後、ご町内の皆様のご理解を得て早朝から、時には深夜から操業しています。多くの従業員が出入りし、物品の搬出入も頻繁にあり、周辺地域に比較してゴミが目立つ状況でした。

工場周辺の清掃に加え、用水路の草刈り・清掃も行うことで、少しでも快適に過ごせるまちづくりの一助となるよう、多くの有志従業員の協力により活動しています。

NTTインフラネット(株)岐阜支店

NTTインフラネット株式会社は、NTTグループの「通信サービス」を守るとともに、「安心・安全快適」なまちづくりを通じて、地域社会に貢献する役割を果たしてまいりたいと考えております。

環境保全への取り組みを企業経営の最重要課題の一つとして位置づけ、企業活動の全ての領域で環境保全の向上に取り組んでいます。



発行日：平成29年5月

発行者：岐阜市市民参画部市民活動交流センター

〒500-8076 岐阜市司町40番地5 みんなの森 ぎふメディアコスモス1階

TEL：058-264-0011 FAX：058-227-7596

E-mail：comm-act@city.gifu.gifu.jp

岐阜版アダプト・プログラム “ぎふまち育て隊”

あなたも参加しませんか？

アダプト・プログラムとは、
市民が里親となり、道路・河川などの公共の場所を
いわばわが子のように面倒を見る（清掃活動など）、都市美化のしくみです。



みんなで参加
してみませんか？
147団体が
活動しています！
(H29. 3現在)

都市美化の対象

公共の場所（駅前・道路・公園・河川など）



市民・地域企業など

清掃・美化活動



地域清掃、花壇の手入れ、里山の保全 など・・・

協働

合意

市と覚書を締結

岐阜市

- サインボードの設置
団体の名前などを明記したアダプト・サインボードを設置します。活動団体の周知になり、市民には都市美化の啓発となります。
- 保険への加入
傷害、賠償責任保険が適用されます。安心して活動に取り組んでいただけます。

岐阜市ならではのアダプト・プログラム（4タイプ）

【 一般型 】	【 文化財型 】	【 創造型 】	【 環境保全型 】
公共空間での清掃活動	まちのシンボリックな文化財を美化活動の対象としたもの	企画段階から皆さんが参画する活動	環境保全を念頭に置いた美化・整備活動
例) 定期的な道路や河川での清掃活動 街路樹や花壇の手入れ	例) 民間敷地内のまちのシンボルを清掃	例) 市と協働で施設等あり方を話し合い、整備・管理	例) 里山の保全 休耕田の緑化 河川などの水質保全

※組み合わせでの展開も可能です。